

## 海洋生物資源学部門（生物生産学講座）テニュアトラック助教1名

応募締切 2015.1.16

東京海洋大学の大学院海洋科学技術研究科研究院海洋科学系では、テニュアトラック制度に基づき、将来にわたって活躍できる優れた教員を育成するためテニュアトラックポストの助教を公募します。

本制度は、助教（テニュアトラック）を任期付きで雇用し、整備された環境のもと研究と教育を推進し、教員としての適性について公正・厳格な審査を行い、本学助教または准教授のテニュア（任期の定めのない常時勤務の教員）を取得させることを目的とするものです。

採用された助教（テニュアトラック）は、原則として独立した研究室の使用が認められ、研究立ち上げのスタートアップ資金やメンターの配置等の援助が受けられます。また、学部授業および会議などの業務が一般の教員に比べ一部軽減されます。なお、大学院担当については、別途資格判定を行い認定します。

- 1 募集人員： 助教（テニュアトラック） 1名 （常勤）
- 2 テニュアトラック期間： 採用から5年間
- 3 所属：大学院海洋科学技術研究科海洋科学系海洋生物資源学部門（生物生産学講座）

#### 4 担当する教育研究内容：

海洋生物資源学部門では、水圏生物の生理・生態について理解を深め、それら生物が水圏で生活できる特殊な仕組みの解明やその特徴を活用した生物資源の増殖・管理と修復保全、環境計測や有益環境の創出等、生物生産に係わる総合的な高度利用に関する学理と技術について教育研究を行っています。

その中であって、当該教員は、水族病原微生物、病理組織、魚介類の免疫・生体防御や病態生理などに関連する水族病理学の領域を担当し、安定的な魚介類養殖生産に資する新たな技術の開発など、幅広く教育と研究を行います。

担当を予定している授業科目は次のとおりです。

[大学院博士前期課程：海洋生命科学専攻 水圏生物科学専攻分野]

水族感染症学、水圏生物科学特別演習、水圏生物科学特別研究などの一部を担当

[学部：海洋生物資源学科]

水族病理学、水族病理学実習、フレッシュマンセミナー、セミナー、卒業論文など  
の一部を担当

#### 5 待遇

給与、福利厚生等の条件は一般の教員と同等です。

#### 6 テニュア中間評価及びテニュア審査

テニュア中間評価を採用日から3年以内、テニュア審査を採用日から5年以内を実施します。

#### 7 研究環境

採用者には独立した研究スペースと、スタートアップ研究費として2015年度（1年目）に600万円※、2016年度に370万円が提供されます。2017年度以降はテニュアトラック教員以外の助教の倍額の学内研究費が提供されます。また、エフォート率70%の研究時間がテニュアトラック期間にわたり保障されます。

※研究費には、設備費、消耗品費、旅費等すべて含まれます。

#### 8 応募条件：

- (1) 博士の学位を有すること
- (2) 上記4の教育研究内容に関わる研究業績を有すること
- (3) 上記4の授業科目を担当、分担できること
- (4) 大学院博士前期課程での研究指導を担当できることが望ましい
- (5) 学部の授業は日本語または英語で、大学院の授業および研究指導は英語で行えること
- (6) 教育研究とともにその他の学内業務にも積極的に取り組むことができること
- (7) 博士号取得後10年以内の研究者であること

9 採用予定日： 2015年4月1日以降できるだけ早い時期

10 提出書類（各原本1部、(1)～(6)はコピー6部をあわせて添付）：

- (1) 履歴書（A4判、様式自由、写真貼付）  
学歴、職歴、賞罰、学位論文題目（学位取得機関・学位取得年月・学位記番号）、所属学会、その他特記すべきことを項目別に列記してください。
- (2) 研究業績目録（A4判、様式自由）  
著書、学術論文[査読付き]、参考論文に分け、それぞれ現在から順に過去に遡り列記してください。  
\*応募時に公刊されているものに限り、学術論文については、審査が終了し受理証明書のあるものを含めることができます。  
\*学術論文で、応募者が第一著者（単著を含む）または責任著者になっている論文は名前に下線を引いて、判別できるようにしてください。
- (3) 学術論文の別刷またはコピー（代表的な論文を5編）  
\*最終選考に際して、学術論文すべての提出をお願いすることになります。
- (4) 競争的研究資金の獲得状況（A4判、様式自由）  
獲得した研究資金があれば、代表・分担の別、申請課題、助成機関、期間、金額を列記してください。
- (5) 現在までの教育および研究内容の要約（A4判、2000字程度）
- (6) 着任後の教育および研究に対する抱負（A4判、2000字程度）
- (7) 提出書類受理通知のための返信用封筒（定形封筒に宛先を記入し、82円切手を貼付してください）
- (8) 審査結果通知のための返信用封筒（定形封筒に宛先を記入し、82円切手を貼付してください）

注意事項：

- 1) 選考に当たって面接等をお願いすることがあります。その場合の交通費等は自己負担とします。
- 2) 健康診断書の提出をお願いすることがあります。
- 3) 応募の秘密は厳守し、応募書類は本選考の目的以外には使用しません。応募書類は原則として返却せず、選考終了後に当方で処分します。

11 募集期限： 2015年1月16日（金）（午後5時必着）

12 書類提出先：

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7

東京海洋大学 大学院海洋科学技術研究科 海洋科学系海洋生物資源学部門

教員（助教：生物生産学）選考委員会委員長 佐野元彦

（「海洋生物資源学部門教員（生物生産学）応募書類」と明記し、簡易書留郵便として）

13 選考結果の通知： 決定次第、応募者本人に通知します。  
第一次選考（書類審査）の結果は2015年2月下旬頃までに通知します。

第二次選考（面接などによる審査）の結果は2015年3月下旬頃までに通知します。

1.4 当該講座教員：

教授：佐藤秀一、佐野元彦、竹内俊郎、吉崎悟朗

准教授：尾城 隆、坂本 崇、芳賀 穰、羽曾部 正豪、藤田大介

助教：遠藤雅人、矢澤良輔、（本公募）

1.5 照会先：

教員（助教：生物生産学）選考委員会委員長 佐野元彦

E-mail：msano00@kaiyodai.ac.jp

1.6 参考：

海洋生物資源学部門の詳細は、東京海洋大学のホームページの海洋科学部の海洋生物資源学科 (<http://www.s.kaiyodai.ac.jp/shigen/index.html>) および大学院の海洋生命科学専攻 (<http://www.g.kaiyodai.ac.jp/main/zenki/index.html>) と応用生命科学専攻 (<http://www.g.kaiyodai.ac.jp/main/kouki/index.html>) をご覧ください。

付記

1) この募集は、本学の自主財源によるテニュアトラック制度に基づいて行うものです。

2) 東京海洋大学のテニュアトラック制度の概要については下記ホームページをご覧ください。

<http://www.kaiyodai.ac.jp/research/tenure/tenuretrack/index.html>

3) 東京海洋大学は、「男女共同参画行動宣言」を定め、女性研究者支援を含めた男女共同参画を推進しています。本公募においても女性研究者の応募を歓迎します。